

予算編成の基本的考え方

平成19年度は、社会保障制度の改正や少子高齢化の進展など、社会情勢の変化にともない増大する行政需要に適切に対応していく重要な年であります。

国の経済見通しは、平成19年度は企業部門・家計部門ともに改善が続き、自律的・持続的な経済成長により、実質成長率を2.0%程度としております。

一方、区の財政運営は、税制改正等による区民税収入の増が見込まれるものの、都の補助金の再構築や特別会計への繰出金の増、区有施設の維持・保全に今後多くの経費が見込まれるなど、決して楽観できる状況ではありません。

このような状況を踏まえ、平成19年度予算は、「予算編成区長プレゼンテーション」の実施により、全庁的な意識の共有化や連携強化を図りながら、編成したものです。

また、3月に区長及び区議会議員選挙を控えているため、予算計上している経費は、原則として平成18年度に計上されている既定経費及び緊急性、継続性により実施しなければならない事業の経費としております。